朝日地球会議2023

対話でひらく コロナ後の世界

Navigating through Dialogue to Move Forward in post-COVID World

10.9 (MON) – 12 (THU) 有楽町朝日ホール & オンラインで開催

8回目を迎える国際シンポジウム「朝日地球会議2023」は、「対話でひらく コロナ後の世界」をメインテーマに10月9~11日は東京・有楽町朝日ホールで、12日はオンラインで開催します。

新型コロナの制限緩和で観光客が戻り、生活の場では生成AI（人工知能）の活用が急速に広がっています。一方でウクライナでの戦闘は終わらず、食品などの物価は上昇。今夏は史上最も暑い夏となり、世界情勢や地球沸騰化が次々と暮らしに変化を迫ってきます。先が見えない時代こそ、共感や希望を忘れず、対話を重ねることが、よりよい未来への道をひらいていくと考えています。

主なセッションのスケジュール　約30のセッションのうち一部をご紹介します

10/9 月・祝 Day 1

14:00 「世界の知」と探るAI新時代【第1部】
AIからの挑戦状～知性・創造とはなにか
メレディス・ウィテカー（AI開発研究者・シグナル社長）❶
安宅和人（慶応大教授）❷
手塚眞（ヴィジュアリスト）
コーディネーター・
長野智子（キャスター）❸

16:20 **里山～自然と文化の交差点**
持続可能なくらしとは
久元喜造（神戸市長）
財前直見（俳優）❹
松村正治（よこはま里山研究所〈NORA〉理事長）
佐々木リディア（東京都立大学国際センター准教授）

10/10 火 Day 2

10:00 「世界の知」と探るAI新時代【第2部】
2024年変わる世界秩序 新しい時代への視座
岩間陽子（政策研究大学院大教授）
中島隆博（東京大東洋文化研究所長）
※オンデマンド配信「世界の知」対談インタビュー内容を紹介しながら進行します

12:00 **劇場の息吹を 舞台演劇の今、そしてこれから**
服部真樹（アデランス文化芸能部長）
花總まり（俳優）❺
小池修一郎（宝塚歌劇団特別顧問・演出）

13:25 **月へ火星へその先へ 宇宙開発の未来は**
土井隆雄（宇宙飛行士）

14:40 **地球に異変 行動したい、でもどうすれば!?**
市川團十郎（歌舞伎俳優）❻
平田仁子（クライメート・インテグレート代表理事）
ジェームズ・ミニー（フェアトレードカンパニー社長）

15:50 **地球の未来を守る**
気候変動対策のためにできること
島村琢哉（AGC取締役兼会長／旭硝子財団理事長）
トラウデン直美（モデル）❼

18:25 **半導体三国志～日本は生き残れるか**
鈴木一人（東京大教授）
高木紀子（富士通先端技術開発本部マネージャー）
山崎怜奈（タレント）❽

10/11 水 Day 3

13:20 **スタートアップという選択肢**
落合陽一（筑波大准教授）❾
米良はるか（READYFOR株式会社代表取締役CEO）❿
上野山勝也（株式会社PKSHA Technology代表取締役）

15:00 **地球沸騰?! ～ 1.5度上昇の世界**
私たちはどう生きるか
江守正多（東京大未来ビジョン研究センター教授）
斎藤幸平（東京大大学院総合文化研究科准教授）⓫

10/12 木 Day 4　オンライン配信のみ

14:35 **2030 日本は「買い」か**
小野善康（大阪大特任教授）
林玲子（国立社会保障・人口問題研究所副所長）

16:00 **もう語学はいらない? AI翻訳が変える世界**
ヤロスワフ・クテロフスキー（DeepL創業者兼CEO）

開催期間中にオンデマンド配信

「世界の知」と探るAI新時代 対談インタビュー

▶**西洋支配の終わり 世界と日本の姿を予言する**
エマニュエル・トッド（人類学者／歴史学者）⓬

▶**リベラリズムへの希望～世界を再構築するために**
フランシス・フクヤマ（政治学者）

▶**「第3の言葉」をさぐる～未来を共有するために**
マルクス・ガブリエル（哲学者）⓭

最新のプログラム、視聴事前登録のお申し込みは公式サイトをご参照ください。
https://t.asahi.com/awf2023

※敬称略。プログラムは変更する場合があります。配信時刻など最新情報は公式サイトをご覧ください。※上記プログラムの中で特別協賛社による特別講演を予定しています。

〈お問い合わせ〉 朝日地球会議2023運営事務局
（パソナ・パナソニックビジネスサービス株式会社内）
Email：awf2023.km@pasona-pbs.co.jp

朝日
地球会議
2023

SDGsに取り組む

プラネタリーヘルス最前線　気候変動と感染症のいま

気候変動をはじめとする地球環境の悪化は、危機的状況にあります。気候危機、地球危機とも言われる大きすぎる課題に対して、私たち一人ひとりにできることはあるのでしょうか。このセッションでは、「プラネタリーヘルス」という概念を踏まえながら、気候変動と感染症について考えます。温暖化の進行によって、マラリアなどの感染症リスクが高まりつつある現状に対して、アカデミズムやビジネス、アクティビズムの最前線で、解決に向けた多様なアプローチをしているゲストを交えて、議論していきます。

10月12日
12:00 - 13:00

渡辺 知保
長崎大学プラネタリーヘルス学環・学環長／熱帯医学・グローバルヘルス研究科・教授

長島 美紀
認定NPO法人Malaria No More Japan 理事

梅田 昌季
SORA Technology Vice Chief Executive Officer

轟木 亮太
NTDs Youthの会 代表／大分大学医学部医学科

コーディネーター
竹下 由佳
朝日新聞 with Planet編集長

朝日
地球会議
2023

地球環境と真摯に向き合う

地球に異変　行動したい、でもどうすれば！？

６、７月の世界平均気温は観測史上最高となり、日本だけでなく世界各地で記録的な猛暑となりました。このまま地球温暖化が進めば、今以上に洪水の頻発や熱中症患者の増加、農作物の不作などに見舞われ、身近な生活や経済が受ける影響は甚大になります。海や陸の氷河が溶け始めています。海面上昇が進めば、日本の沿岸部への影響も深刻です。人間活動が「地球沸騰化」に影響を与えていることは疑いの余地がありません。破滅的危機を前に、私たちはどう行動すればいいのでしょうか。一人ひとりにできる具体的な行動について、「先達」を招いて考えます。

10月10日
14:40 - 15:40

市川 團十郎
歌舞伎俳優

平田 仁子
一般社団法人Climate Integrate代表理事／千葉商科大学サイエンスアカデミー客員教授

ジェームズ・ミニー
フェアトレードカンパニー株式会社 代表取締役社長／ピープルツリー共同創設者

コーディネーター
関根 慎一
朝日新聞くらし報道部記者

朝日
地球会議
2023

地球環境と真摯に向き合う

地球沸騰?!～1.5度上昇の世界　私たちはどう生きるか

「地球沸騰化」の時代に突入した。この夏、世界の平均気温は観測史上最高を記録した。熱波による死亡者や熱中症が相次ぎ、洪水や干ばつ、山火事が頻発した。ウクライナ戦争の影響もあり、エネルギーや食料に対する危機感も急激に高まっている。温暖化はすでに臨界点を超えたのか。これから、いったいどこまで進むのか。いまの経済システムの先に危機を回避する道はあるのか。世界を変えるには、何が必要か。そして何ができるのか。希代の科学者と哲学者、若者が、科学や倫理、希望について語り合う。未来への光明は見いだせるか。

10月11日
15:00 - 16:00

江守 正多
東京大学未来ビジョン研究センター教授／国立環境研究所上級主席研究員

撮影：丸山光
斎藤 幸平
東京大学大学院総合文化研究科准教授

中村 涼夏
鹿児島大学水産学部4年生/record1.5共同代表

コーディネーター
石井 徹
朝日新聞編集委員